

## そよ風が吹けば (Se l'aura spira tutta vezzosa)

G.Frescobaldi 訳詩 : Junko Higasa(2012.12.2 Sun.)

そよ風が優しく吹けば  
咲き始めたバラも香る  
エメラルドの緑の影で  
夏の暑さ気にせずに

楽しげに 踊れ 揺れろ  
ニンフの好きな花に寄れ  
同じように泉を吹けば  
山から海へ流れる

甘くささやく鳥のように  
若木を吹けば花が開く  
日陰側の美しさにも  
やさしい愛が届くでしょう

そよ風よ 歌え ニンフを呼んで  
つれない風を追い払え

---

## おまえたちを讃える栄光のために (Per la Gloria d'adorarvi)

G.Bononcini 訳詩 : Junko Higasa(2012.12.3 Mon.)

栄誉あふれるあなたを讃え  
その瞳を愛したい  
栄誉あふれるあなたを讃え  
その瞳を愛したい

愛していくほど  
苦しむのだろう ああ ああ わが身を焦がし  
愛していくほど  
苦しむのだろう ああ ああ わが身を焦がし

愛する苦しみ その瞳  
愛する苦しみ その瞳

叶う望みも喜びもなく  
虚しくつく ため息よ  
叶う望みも喜びもなく  
虚しくつく ため息よ

けれども愛する  
甘美な眼差し ああ ああ わが身を焦がし  
けれども愛する  
甘美な眼差し ああ ああ わが身を焦がし

愛する苦しみ その瞳  
愛する苦しみ その瞳